

令和6年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

# アイ・あい だより



3月号

早いもので、今年度発行する最後のアイ・あいだよりとなりました。一年間のご愛読、ありがとうございました。

今月は、「走る」というテーマでお伝えしたいと思います。

本校の幼小部運動会で行っている「ロープ走」「音響走」、中高等部で行っている「円周走」という走り方について、写真と解説を載せたいと思います。

## 『ロープ走』

地域の小学校の運動会では、「徒競走」という種目がよくありますが、見えない・見えにくい人にとって、思い切り「走る」のは、容易ではありません。しかし、ある手立てをすると、速度をつけて走ることができます。その一つが、「ロープ走」です。



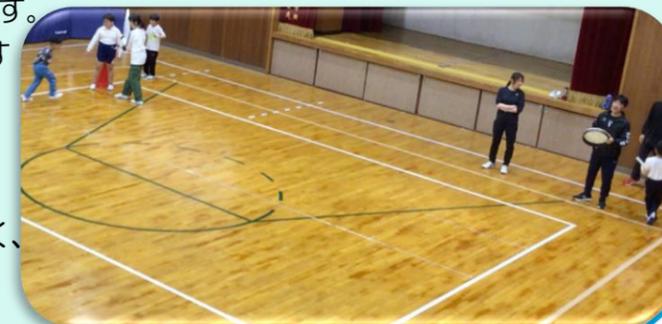
左や上の写真のように、ピンと張ったロープに通した筒をすべらせながら、走ります。ロープがたるんでいると、筒がスムーズに前に進みませんので、ピンと張った状態が維持できるよう、教員は両端をかなりの力で引っ張り合っています。また、高さが高すぎても低すぎても走りにくいので子どもの背の高さに合わせて、その都度高さも調節しています。子どもたちは、そのロープを頼りに、全力疾走できるのです。

## 『音響走』

もう一つの走り方は「音響走」です。下の写真のように、競争する2チームが、それぞれの音を頼りに走ります。片方のチームは太鼓の音、他方のチームはカスタネットの音、というように、はっきりと違う音を出して、ゴールの位置を知らせます。

ロープ走とは違い、音を頼りにしていても、まっすぐに走れない場合もあります。そんな時も、すぐに手を引きに行くわけではなく、音を出している教員の後ろに並んで待っているチームメートが応援の音を出して（「がんばれ」だけだと、どちらのチームの応援か分かりづらいので、名前を呼びながら）、方向を強調します。

あまりにも方向がそれていったら、背中を押すなどして、ゴールへ導くこともあります。だいたいの子どもたちは、自分で音を聞きながら、ゴールまでたどり着いています。走るのがいやだという声は耳にしたことがなく、子どもたちは楽しんで走っている様子です。



## 『円周走』

グラウンドの中央に杭を打ち、持ち手のついたワイヤーを取りつけます。その杭を中心に持ち手を持ってワイヤーを引っ張り、円周を走ります。全力で走ることができるのはもちろん、事前に1周のタイムを宣言し、宣言タイムに近い方が勝ちの「タイムピットンコ」など、楽しく走ることができます。



## 相談室からのお知らせ

いつも、教育相談にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、来年度の教育相談ですが、4月の相談につきましては、4月1日以降に電話でご予約ください。なお、本校に入学されました幼児児童生徒のサポートを優先的に行うため、4月の相談についてはご希望の日時に合わないこともあります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

5月以降につきましては、校外の教育相談を中心に実施していく予定としております。

来年度も どうぞよろしくお願いいたします。